

栄養急速ニ低下スルノアリ加フルニ飼料ノ調達思ハレラス時  
之カ管理ニ因感スル所アリ是種ノ手段ヲ以テ遠ク不頭北新  
地ニ於テ飼料ヲ調達シ飼具法ニ改善善ヲ加フル等努力結  
果漸次給與量増加採食状態ノ向上ナリ一月未頃ニ至リテハ  
栄養状態全ク恢復シ衛生状態モ亦佳良ニシテ疾病其他  
特記スベキモノナシ

空襲及戦時砲爆彈ニ対ス防護ノ為ニ辰舎概不頭至  
三頭緊急ノテ洞窟廠ヲ構築シ之中旬之ヲ概不寛カシ

### 戦斗経過ノ概要

其ノ一 自三月二十三日  
至三月三十一日

昭和三年三月二十三日敵機動部隊大舉空襲ニ来リ翌ニ四日  
艦砲射撃ヲ開始ス至リ本島戦場化ハ必至ノ勢トナリ  
茲ニ於テ甲新戦備ハ下令セラレ各部隊亦真剣ニ戦斗配  
置ヲ整ク

三三 未の敵艦首機概不四機十編ヲテ編隊都次ヲ次ハト  
本島東方海岸ヨリ急襲シ主トシテ飛行場及海岸要  
地艦船並ニ重要障地ノ爆撃ヲ開始シ終日間断テテ空  
ニ六常ニ四五百機乱舞シテノ実状ヲ呈セリ而シテ薄暮ニ  
至レテ尚ホ爆撃ハ繼續セラレ愈々本島進攻ハ決定的ト自レ  
ト至レリ當部隊ハ障地対シテハ電探障地附近ニ部隊撃

並ニ銃撃ヲ受ケルモ被遺輕微ニシテ海上輸送隊ノ基地ニ  
與リ厚ク其ノ大半ヲ燒失セシメ人員被遺ハ皆無キ

○青島 朝來敵ノ艦砲ハ當部隊ノ前田陣地ニ落着ニ其ノ狀電探陣  
地ヲ目標トスルモノ如ク附近ノ道路及施設中破壞セラルモノ續出  
シ之ヲ修復ニ暇ナシ

從來ノ輸送補給計畫ヲ變更シ戰鬥態勢入リ準備是  
ニ方為示頭地ニテ輸送ヲ中止シ各要地ニ分散部隊ヲ招  
致スルト共ニ要地連絡ヲ閉鎖部隊主力ノ位置ニ集結ヲ命ズ  
第一線部隊對スル陣地資材及彈藥其ノ他戰鬥資材ノ補給ニ  
重兵ヲ指向シ部隊以下部隊陣地ノ構築ニ任セシム

○青島 敵ノ攻撃ハ益々熾烈化シ概ニ其ノ上陸方面ヲ中頭北約嘉手  
賀谷支隊ノ行動援助ノ為自動車一分隊ヲ派遣協力セシム

納地区及中飛行場正面前近ノ判斷セラルル至リ賀谷支隊ノ  
後退準備輸送ニ着手スルト共ニ陸正面對スル部隊陣地強化  
修復ニ努ム

○青島 神山集積所ニ於テ糧秣其ノ他資材ヲ首里野戰倉庫後  
送ス

○青島 戰鬥資材特ニ彈藥糧秣ノ輸送補給及昨日ノ輸送ヲ引續キ  
實施ス

艦砲射撃ノ熾烈化ニ伴ヒ道路ノ破壞セラルモノ多ク自動車ノ  
運行意ノ如クナラズナリ

○青島 兩後戰傷病患者ノ後送担任ヲ命セラル

○青島 前日ノ末ノ狀況ヨリ敵ノ上陸者由ラ企圖スル方面ヲ嘉手納方面  
ト概ニ判定スルコトヲ得同地ニ在リタル高射砲部隊ノ即迎

主陣地内ニシテ撤退輸送ヲ実施ス

前日ニ引續キ嘉手納地ニ射砲ノ嘉敷地区ニ対スル撤退輸送ヲ実施ス

沖繩本島西海面ニ於テ敵艦船八隻共ニ其ノ数ヲ増シ計數ニ敵ヲキルヲ呈セリ

特ニ三月二十五日早朝米慶良間列島附近ニ砲撃激烈ニシテ激戦ヲ俟ハレシモノアリ

賀谷支隊ノ機動準備輸送ヲ概テ完了ス

其ノ二 自四月一日至四月三日

四月一日 米のヨリ大山以南牧港附近ニ稍々遅ク拂曉以後嘉手納北谷附近ニ対シ空海ノ砲撃ハ集中セリ砲煙四圍ヲ包ミテ全望見ヲ許サレシ状態ニアリ

午前八時頃ニ至リ大小無数ノ舟艇群ハ嘉手納及北谷海岸ニ16強行着岸ヲ望見セラレ上陸ヲ敢行中ノ如シ

牧港附近ニ対スル砲撃ハ朝米熾烈ヲ極メ七時頃ヨリ前日普天間宜野灣等ノ各要地ニ対シ間斷テ艦砲ノ援射撃ハ開始セラレ夜迄之ヲ續行セリ

四月二日 當部隊陣地附近ニ対シ艦砲ノ落達ハ愈々熾烈化シ各隊連者ハ急激ニ増加シ方牧港後送ヲ要スルモノ多ク又中一線並前隊ノ陣地ハ敵進攻状態ニ即シ彼此融通整備ヲ要スモノアリ之カ

後送及補給ニ忙殺セラレ加ル陣地ノ補修強化ノ緊急事ニシテ將  
兵ノ苦ム大ナルモノ一師團ノ當部隊ニ對シ第一線兵ヲ隊要  
求ニ應ジ道時患者ノ收容後送及彈藥糧秣ノ補給ヲ實施スル  
ニ命令シテ下達セラル

四二〇 敵ハ漸次浸透シ来リ我々第一線陣地ニ近迫セリ神山集積所ニ於  
テ諸物資ノ後送ヲ實施ス

四二一 師團ノ右中隊兵ヲ予ニ旅團ニ面ハ正午頃より戦斗ヲ開始  
セリ患者ノ收容後送及彈藥ノ補給輸送ハ概テ車馬ノ使用ヲ  
許サレバ状況ニ依リ主トシテ人カラ以テ之ヲ實施ス  
戦況有利ナラザレバ夜入リテ神山集積所ノ糧秣後送ヲ實  
施ス此際敵砲彈ノ為兵員及自動車ニ若干ノ損害ヲ蒙リモモ  
幸ニ其ノ目的ヲ取行スルヲ得タリ

四二二

師團ハ四月七日ヲ期シ攻撃ニ轉スヘク各部隊ニ對シ内命アリ師團  
長ハ勅重隊長ヲ招致シテ攻撃後轉後ニ於テ患者ノ處理彈藥  
糧秣其他ノ補給等ニ関シ意見ヲ徵セテ隊長ハ作戰指導ヲ  
基調トシテ之カ方策ヲ答申シ師團ノ後方ニ関シハ懸念ナキ旨  
勅言セリ而シテ後兵器部長代理及經理部長代理ト合同シ  
シ攻撃後轉後ニ於テ輸送補給ニ関スル打合せヲ行ハトシ師  
團軍醫部長代理及野戰病院長ト患者ノ收容後送等ニ関スル  
協議ヲ逐テ自信ヲ以テ諸備ニ着手セリ

四二三

前日由京セラレタル七日攻撃ヲ中止シテ達セラル敵攻撃ハ激烈ニシ  
テ又刻ニ敵リ宜野灣街道以西ノ第一線主陣地ノ大部ヲ奪取スル  
四二四 敵ハ西海岸道方面ニ於テ重圧ヲ加ヘ来タリ大謝石宇治附近  
ノ陣地ヲ奪取セラル

状況進展に伴い極力部隊陣地強化に努む  
四十日 以後十日ヲ期シ總攻撃ニ轉スベク下命アリ

新ニ戦線ニ投入スル山本支隊攻撃發起莫ニ対ス兵力輸送  
ヲ實施スルト共各部隊ニ対シ彈藥資材補給並ニ患者後送  
處理ヲ敢行ス

四十一日 攻撃準備ノ為彈藥糧秣其他補給及患者ノ整理ヲ莫  
シ山本支隊所要資材及兵力輸送ヲ敢行ス

山本支隊八員ノ主力ヲ以テ仲間附近ニ集結シ先氣衝天概アリ  
四十二日 亦々日來準備セシ總攻撃モ遂ニ轉移ノ好機ヲ失シ中止セリ有  
力部隊ヲ以テ挺進奇襲戦斗ヲ實施スルトナリシ師団在  
リテ八豫定ノ山本支隊ヲ強カシテ挺進隊部隊数组ヲ中央道路  
方面ヨリ普天向方面向ニ楔入シ隨所敵ヲ分断攻撃セシムク

昨夜集合地仲間附近ヲ進發セシム各部隊ノ期待大ナルベキナリ  
部隊八員長附近ニ集積シテ彈藥ヲ仲間附近ニ轉送補給ノ  
準備ヲ了ス又西原南方ニ集積シテ燃料及彈藥ヲ首尾ニ  
棚原野戦病院ニ收容中患者ヲ首尾及南風原ニ後送ス  
挺進奇襲部隊昨夜未弋果八未夕別然セリ敵ノ攻撃ハ  
一般ニ低調ニシテ西海岸道方面嘉敷正面ニ於テ激烈ヲ極ム

幸地附近在リテ態勢整備中賀谷支隊ハ昨日十三日独立奇  
兵中一大隊ヲ左翼棚原東方ニ進出シ上原山山等地我知古ニ  
巨ニ線ヲ覆ス 昨夜森川集積所ヨリ燃料及彈藥ノ後  
送ヲ實施スルト共賀谷支隊ニ対シ糧秣補給ヲ實施ス  
オシシ師団病馬廠ヲ配属セラル  
師団病馬廠ハ十原陣地ニ於テ四月七日敵ノ攻撃ヲ受テ首尾

向二後退セルナリ

敵機

中一線ハ随所激斗ヲ反覆シ特ニ右翼才十大隊方面ニ於テ  
敵ノ攻撃熾烈ニシテ我ノ損害相勞大ナルヲ知ル

是者ノ後退運糧秣彈藥ノ補給並ニ陣地強化ニ努ム

軍令

戰況有利トスル收港方面ノ敵ハ伊祖北方稜線△山脚ニ進出  
其ノ一部ハ仲向北端ニ進出スル地守兵之ヲ擊退ス因テ部隊  
ハ一部兵力ヲ既設陣地ニ配備シ戰斗準備ヲ強化ス

伊祖

伊祖方面ノ敵ハ湊川域内方面ニ進出ヲ開始セルノ如ク同地附近  
戰斗ヲ望見ス

其ノ三 自四月二十一日  
至四月二十六日

第一線部隊ノ戰況遂日急迫ニ補給及後送輸送ハ激増セシ

ニ又シ海陸空ヨリスル砲撃ハ愈々熾烈化シ百米平方地

域内ニ落着ク砲爆彈ハ分時百二十餘ヲ算スル状況ニテ

自動單車區ノ使用全ク不能ニ陥リ人力ニ依リ之等ノ補給後

送ヲ實施スル他テモ状態トナレリ

患者後送ノ為ニ平均二患者三名ヲ要スル状態ニシテ其ノ余中

敵彈ノ為ニ多額損傷亦大ナルナリ

伊祖

戰況一般ニ不振ニシテ我如古西原附近ノ陣地ノ一部ヲ奪取セル

ニ在リテ又嘉敷附近ノ數日來爭奪ヲ繰返シ西新海岸道方面  
飛行場ノ北端ヲ占領セルに至リ

四三番 第一線ハ概不中西北方ハ流ノ線阿波茶北端仲間北側高地方面  
東側高地ヲ幸地翁長三直線ニ戦線ヲ敷理ス夫命令今下  
達セラレ附員第八ノ如ク配備ヲ変更シ逐次陣地ヲ整備ス  
四四番 独ノ第十大隊ノ前田東方高地ハ一般ニ敵ノ馬來攻撃ヲ受テ所  
在部隊之ヲ撃退シ任るモ我功ニ至ラズ  
敵ハ我方陣地道ヲ近道ニ部隊ハ師團ノ右方ニ線トシテ  
計画正所ニ從ニ戦斗配備ヲ強化完了セリ

其ノ四 自四月二十七日  
至五月十四日

四五番 赤田東方高地線ハ一般ニ馬來攻撃ノ儘ニシテ之ヲ奪回我  
功ニ至ラズ爾來屢次攻撃モ亦効ヲ奏セズ

敵ノ兵力ハ遂ニ増強セラレ西翼亦漸次強圧ニ堪ヘシテ後  
退シ幸地西方高地及中西飛行場ニ移リ奪取セリ

四六番 敵戦車八輛ハ幸地西方高地ニ進出シ首尾飛行場ヲ突進シ  
テ赤田南方高地ヲ移落ラ攻撃シ来リ之同所ニ在リ我カチ  
ニ中隊勇敢ニ奮戦シ之ヲ撃退セリ

四七番 戦況一般ニ振ス右翼首尾飛行場方面ハ依然赤田ノ状  
況ヲ反覆セリ独ク三三大隊ノ當山附近殘置部隊對シテ

中隊長吉田中尉直接指揮下ニ敵陣ヲ突破シテ食糧補  
給ヲ實施ス 昨午八日以來仲間北側高地ニ突進セルヲ三三師